

日本防犯設備協会技術標準

SES E 0002-5

防犯図記号

Graphical Symbols for Security Apparatus

1991 年（平成 3 年）12 月 3 日 制定
2002 年（平成 14 年） 3 月 20 日 改正
2006 年（平成 18 年） 5 月 1 日 改正
2015 年（平成 27 年） 5 月 19 日 改正
2021 年（令和 3 年） 6 月 30 日 改正



公益社団法人 日本防犯設備協会

防 犯 図 記 号

Graphical Symbols for Security System

1991 年 12 月 3 日制定 2002 年 3 月 20 日改正 2006 年 5 月 1 日改正 2015 年 5 月 19 日改正 2021 年 6 月 30 日改正
--

1 適用範囲

この規格は、防犯用関連機器及び警戒表示に関する図記号について規定する。

- 注記 1** 図記号の大きさを変えることは自由であるが、相似な形を推奨する。ただし、線の太さを変えて用途を区別するなどの応用を行ってもよい。
- 注記 2** 必要がある場合には、図記号に番号などを付記し、別に凡例を付け、その区別を明示してもよい。
- 注記 3** 図記号は、機能類似の他のものに準用することができるが、この場合には符号その他適当な方法によって、その性能を明らかにする必要がある。
- 注記 4** この規格に定めていないもの、又はこの規格で不十分なものに対しては、他の図記号との組み合わせ、文字や記号の併記などによって表すことを推奨する。

2 防犯図記号

2.1 一般的事項に関する図記号

名称	図記号	摘要
埋込型		必要に応じ、図記号の上に円弧を描く。
壁付		必要に応じ、図記号の壁側に棒線を引く。
屋外用		必要に応じ、図記号の上に屋根型を付ける。
警戒区域境界線		配線の図記号より太くする。
警戒区域番号		(1) ○の中に警戒区域番号を入れる。 (2) 必要に応じ、○上部に必要事項、下部に警戒区域番号を入れる。

2.2 防犯設備に関する図記号

2.2.1 侵入警報設備関連

名称	図記号	摘要
警報制御盤		必要に応じ、種別、回線数を傍記する。
副警報制御盤		必要に応じ、種別、回線数を傍記する。
入出操作器		必要に応じ、種別を傍記する。 例：カード式  C テンキー式  T キー式  K ダイヤル式  D 指紋式  F 静脈式  VI 顔式  FC 虹彩式  IR
威嚇器		必要に応じ、種別を傍記する。 例：ベル  B ブザー  BZ サイレン  S 照明  L 音声  V
検知器（点検知器）		必要に応じ、種別を傍記する。 例：マグネットスイッチ  M リミットスイッチ  L シャッター検知器  S 振動検知器  V ガラス破壊検知器  G 傾斜検知器  T 金庫検知器  SB

名称	図記号	摘要
検知器（空間検知器）		(1)必要に応じ、種別を傍記する。 (2)必要に応じ、同一種別の中の区分を傍記する。 (3)必要に応じ、方向を示す場合は矢印を付記する。 例：赤外線パッシブ検知器 立体警戒型 P/S 赤外線パッシブ検知器 面警戒型 P/F 赤外線パッシブ検知器 スポット警戒型 P/SP 超音波式検知器 片方向警戒型 U/S 超音波式検知器 両方向警戒型 U/D ガラス破壊音検知器 G マイクロ波式検知器 送受一体型 MW レーザー式検知器 L
検知器（線検知器）		(1)必要に応じ、検知器を点線で結ぶ。 (2)必要に応じ、種別を傍記する。 例：断線式検知器 B 引抜き式検知器 P テープ式検知器 T (3)対向式のものは 投光器 、受光器 を点線で結ぶ。 必要に応じ、種別及び最大設置距離(標準条件)を傍記する。 例：赤外線ビーム検知器 I 赤外線ビーム検知器（反射式） I マイクロ波式検知器 送受分離型 MW 光ファイバー検知器 FO
非常通報スイッチ		必要に応じ、種別を傍記する。 例：押しボタンスイッチ P クリップ型スイッチ C フットスイッチ F 引きスイッチ PL
電源装置		必要に応じ、種別を傍記する。

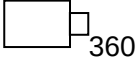
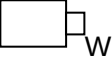
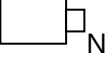
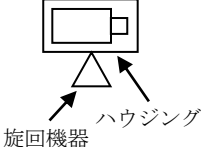
名称	図記号	摘要
自動通報機（自動送信機）		必要に応じ種別、回線数を傍記する。 例：自動送信機 公衆回線 PU 自動送信機 専用回線 PR 自動通報機 音声 V
区分表示器		必要に応じ、回線数を傍記する。
無線式機器		(1)必要に応じ、種別を傍記する。 (2)必要に応じ、図記号の上にアンテナのシンボルを付ける 例：検知器（ビーム検知器） 赤外線パッシブ検知器 P/S 非常通報スイッチ P 受信機（無線） R 送信機（無線） T 中継器（無線） TR

2.2.2 出入管理設備関連

名称	図記号	摘要
識別装置		図記号、種別の傍記例とも、2.2.1 侵入警報設備関連の“入出操作器”と同一とする。
出入管理装置	AC	必要に応じ、種別を傍記する。
電気錠制御盤	L	必要に応じ、種別を傍記する。
電気錠		必要に応じ、種別を傍記する。 例：通電時解錠型 U 通電時施錠型 L 瞬時通電施解錠型（自己保持型） I モーター施解錠型 M

鍵管理装置	KEY	
-------	-----	--

2.2.3 防犯カメラ設備関連

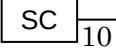
名称	図記号	摘要
防犯カメラ (NTSC 対応)		(1)ドーム型は、次による。  (2)全方位カメラは、次による。  (3)必要に応じ、種別を傍記する。 例：PTZ 一体型  ワイドダイナミック機能  デイナイト機能  屋外ハウジング一体型  (4)機能が重複する場合は、「/」でつなげる。 例：デイナイト機能付き屋外ハウジング一体型 
防犯カメラ (IP-IF 対応)		同上
防犯カメラ (HD-SDI 対応)		同上
防犯カメラ (アナログ HD 対応)		同上
旋回機器		
ハウジング		
モニターテレビ		
PC モニター		
防犯カメラ装置架 (監視カメラ装置架)		

デジタルレコーダー (NTSC 対応)		
デジタルレコーダー (IP-IF 対応)		
デジタルレコーダー (ハイブリッド対応)		
名称	図記号	摘要
デジタルレコーダー (HD-SDI 対応)		
タイムラプスビデオレコーダー (タイムラプス VTR)		
映像切替器		
映像分配器		
映像補償器		
エンコーダー		
デコーダー		
ビデオセンサー		

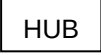
2.2.4 インターホン設備関連

名称	図記号	摘要
インターホン親機		
ドアホン子機		
モニター付子機		
集合玄関機		必要に応じ、集合玄関機を構成する識別装置の方式・種別を機器一覧表などに注記する。
住宅情報盤		

2.2.5 その他防犯設備関連

名称	図記号	摘要
電子式物品監視装置 アンテナ部		必要に応じ、照合方式の種別を機器一覧表などに注記する。
センサーケーブル		必要に応じ、ケーブル接続可能本数を傍記する。 

2.2.6 情報設備関連

名称	図記号	摘要
パーソナルコンピューター		
プリンター		
スイッチングハブ		
ルーター		

関連規格：SES E 0001
SES E 9906
JIS C 0303

防犯に関する用語
防犯図記号の登録運用規定
構内電気設備の配線用図記号

SES E 0002-4（防犯図記号） 解 説

1 SES E 0002-5 改正の経緯

5 年毎の見直し改正に向けて、主に以下の対応を行った。

1.1（公社）日本防犯設備協会の各専門委員会より意見聴取した結果の審議

5 年見直しに伴う用語の追加・変更について 2020 年 8 月に意見聴取した（各専門委員会に特化した追加・変更がないことを確認）。なお、当委員会で議題に上がった「デジタルレコーダー（NDR）」の NVR への見直し及び「スイッチングハブ」と「ハブ」の使い分けについて、専門委員会との調整により変更しないこととした（防犯設備士テキストの次回改訂で再検討）。

1.2 防犯設備士テキスト大改訂との整合

テキスト大改訂に伴い、以下の図記号を追加した。

(1) 侵入警報設備関連

検知器（点検知器）：摘要例「金庫検知器」

検知器（線検知器）：摘要例「光ファイバー検知器」

(2) 防犯カメラ設備関連

防犯カメラ：摘要例「ワイドダイナミック機能付き」「デイナイト機能付き」「屋外ハウジング一体型」「PC モニター」

(3) インターホン設備関連

「モニター子機」

1.3 JIS との整合

JIS C0303（構内電気設備の配線用図記号）の他、JIS C0617-9（電気用図記号―第 9 部：電気通信―交換機器及び周辺機器）、JIS C0617-10（電気用図記号―第 10 部：電気通信―伝送）、JIS Z8221-1（機器・装置用図記号の基本原則―第 1 部：図記号原形の創作）を確認した。

1.4 SES E 0001（防犯に関する用語）及び SES E 9902（SES E 規格票の様式）との整合

2 図記号に付す英字の略号

名称	略号	英字	意味
副警報制御盤	S	<u>S</u> ub	副
入出操作器 カード式	C	<u>C</u> ard	カード
入出操作器 テンキー式	T	<u>T</u> en-key	テンキー
入出操作器 キー式	K	<u>K</u> ey	キー
入出操作器 ダイアル式	D	<u>D</u> ial	ダイアル
入出操作器 指紋式	F	<u>F</u> inger print	指紋
入出操作器 静脈式	VI	<u>V</u> ein	静脈
入出操作器 顔式	FC	<u>F</u> ace	顔
入出操作器 虹彩式	IR	<u>I</u> ris	虹彩
威嚇器 ベル	B	<u>B</u> ell	ベル
威嚇器 ブザー	BZ	<u>B</u> uzzer	ブザー
威嚇器 サイレン	S	<u>S</u> iren	サイレン
威嚇器 照明	L	<u>L</u> ight	ライト
威嚇器 音声	V	<u>V</u> oice	音声
検知器 マグネットスイッチ	M	<u>M</u> agnet	磁気
検知器 リミットスイッチ	L	<u>L</u> imit	リミット
検知器 シャッター検知器	S	<u>S</u> hutter	シャッター
検知器 振動検知器	V	<u>V</u> ibration	振動
検知器 ガラス破壊検知器	G	<u>G</u> lass	ガラス

名称	略号	英字	意味
検知器 傾斜検知器	T	<u>T</u> ilt-switch	傾斜
検知器 金庫検知器	SB	<u>S</u> afety <u>B</u> ox	金庫
検知器 赤外線パッシブ検知器 立体警戒型	S	<u>S</u> pace	立体
検知器 赤外線パッシブ検知器 面警戒型	F	<u>F</u> ace	面
検知器 赤外線パッシブ検知器 スポット警戒型	SP	<u>S</u> pot	スポット
検知器 超音波式検知器 片方向警戒型	S	<u>S</u> ingle	片
検知器 超音波式検知器 両方向警戒型	D	<u>D</u> ouble	両
検知器 ガラス破壊音検知器	G	<u>G</u> lass	ガラス
検知器 マイクロ波式検知器	MW	<u>M</u> icro- <u>w</u> ave	マイクロ波
検知器 レーザー式検知器	L	<u>L</u> aser	レーザー
検知器 断線式検知器	B	<u>B</u> reaking of wire	断線
検知器 引抜き式検知器	P	<u>P</u> ullout	引抜き
検知器 テープ式検知器	T	<u>T</u> ape	テープ
検知器 赤外線ビーム検知器	I	<u>I</u> nfrared	赤外線
検知器 光ファイバー検知器	FO	<u>F</u> iber <u>O</u> ptic	光ファイバー
非常通報スイッチ 押しボタンスイッチ	P	<u>P</u> ush	押し
非常通報スイッチ クリップ型スイッチ	C	<u>C</u> lip	クリップ
非常通報スイッチ フットスイッチ	F	<u>F</u> oot	フット
非常通報スイッチ 引きスイッチ	PL	<u>P</u> ull	引き
自動通報機（自動送信機）公衆回線	PU	<u>P</u> ublic	公衆
自動通報機（自動送信機）専用回線	PR	<u>P</u> ri <u>v</u> ate	専用
自動通報機（自動送信器機）音声	V	<u>V</u> oice	音声
無線式機器 赤外線パッシブ検知器	S	<u>S</u> ensor	検出器
無線式機器 非常通報スイッチ	P	<u>P</u> anic	非常
無線式機器 受信機	R	<u>R</u> eceiver	受信機
無線式機器 送信機	T	<u>T</u> ransmitter	送信機
無線式機器 中継器	TR	<u>T</u> ransmitter and <u>R</u> eceiver	中継器
出入管理装置	AC	<u>A</u> ccess <u>C</u> ontrol	出入管理
電気錠制御盤	L	Electric <u>L</u> ock	電気錠
電気錠 通電時解錠型	U	<u>U</u> nlocked by a continuous flow of current	通電時解錠
電気錠 通電時施錠型	L	<u>L</u> ocked by a Instantaneous Current flow	通電時施錠
電気錠 瞬時通電施解錠型	I	Locked and unlocked <u>I</u> ntermediate by an flow of current	瞬時通電施解錠
電気錠 モーター施解錠型	M	<u>M</u> otor locking and <u>U</u> nlocking	モーター施解錠
鍵管理装置	KEY	<u>K</u> ey safe-keeping system	鍵管理装置
防犯カメラ PTZ 一体型	PTZ	<u>P</u> an、 <u>T</u> ilt、 <u>Z</u> oom	パン、チルト、ズーム
防犯カメラ ワイドダイナミック機能	W	<u>W</u> ide Dynamic	ワイドダイナミック
防犯カメラ デイナイト機能	N	<u>D</u> ay- <u>N</u> ight	デイナイト
防犯カメラ 屋外ハウジング一体型	OD	<u>O</u> ut <u>d</u> oor Housing	屋外ハウジング
モニターテレビ	TVM	<u>T</u> ele <u>v</u> ision for <u>M</u> onitoring	モニターテレビ
PC モニター	PC-M	<u>P</u> ersonal <u>C</u> omputer for <u>M</u> onitoring	PC モニター
防犯カメラ装置架（監視カメラ装置架）	CCTV	<u>C</u> losed <u>C</u> ircuit <u>T</u> ele <u>v</u> ision	防犯カメラ
デジタルレコーダー（NTSC 対応）	DR	<u>D</u> igital <u>R</u> ecorder	デジタルレコーダー

名称	略号	英字	意味
デジタルレコーダー (IP-IF 対応)	NDR	<u>N</u> etwork <u>D</u> igital <u>R</u> ecorder	デジタルレコーダー
デジタルレコーダー (ハイブリッド対応)	HR	<u>H</u> ybrid Digital <u>R</u> ecorder	デジタルレコーダー
デジタルレコーダー (HD-SDI 対応)	HDR	<u>H</u> igh <u>D</u> efinition Digital <u>R</u> ecorder	デジタルレコーダー
タイムラプスビデオレコーダー	TVTR	<u>T</u> ime-lapse <u>V</u> ideo <u>T</u> ape <u>R</u> ecorder	タイムラプスビデオレコーダー
スイッチングハブ	HUB	<u>S</u> witching <u>H</u> ub	スイッチングハブ
映像切替器	AVSW	<u>A</u> udio <u>V</u> ideo <u>S</u> witch	映像切替器
エンコーダー	ENC	<u>E</u> ncoder	符号化装置
デコーダー	DEC	<u>D</u> ecoder	復号装置
ビデオセンサー	VMD	<u>V</u> ideo <u>M</u> otion <u>D</u> etector	ビデオセンサー
インターホン親機	t	<u>M</u> aster <u>T</u> elephone	インターホン親機
ドアホン子機	d	<u>D</u> oor phone	ドアホン
モニター付子機	m	<u>M</u> onitor	モニター
集合玄関機	d	<u>E</u> ntrance <u>D</u> oor phone	エントランスドアホン
住宅情報盤	IP	<u>I</u> nfomation <u>P</u> anel	情報盤
電子式物品監視装置 アンテナ部	EAS	<u>E</u> lectric <u>A</u> rticle <u>S</u> urveillance	電子式物品監視
センサーケーブル	SC	<u>S</u> ensor <u>C</u> able	センサーケーブル
パーソナルコンピューター	PC	<u>P</u> ersonal <u>C</u> omputer	パーソナルコンピューター
プリンター	PRT	<u>P</u> rinter	プリンター
ルーター	RT	<u>R</u> outer	ルーター

審議委員会：規格調査委員会、警報システム分科会

委員長　：　渡邊　真基　　（セコム株式会社）

委　員　：　貝崎　欣也　　（NEC プラットフォーム株式会社）
 鳥居小路 昭仁（東洋テック株式会社）
 天野　博之　　（オプテック株式会社）
 古谷　信之　　（ホーチキ株式会社）
 中田　浩幹　　（竹中エンジニアリング株式会社）
 鈴木　康文　　（竹中エンジニアリング株式会社）

事務局　：　上原　実　　（公益社団法人 日本防犯設備協会）

※ 2021 年 6 月 30 日 現在

SES E 0002-5

防 犯 図 記 号

発 行 2021 年（令和 3 年）6 月

編 集 公益社団法人 日本防犯設備協会 規格調査委員会

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物です。本書に記載の内容を転載される場合は、事前に(公社)日本防犯設備協会の承諾を得てください。この規格についての意見又は質問は、(公社)日本防犯設備協会 事務局にご連絡ください。

なお、SES E 規格は、少なくとも 5 年を経過する日までに(公社)日本防犯設備協会 委員会運営会議の審議に付され、速やかに、確認、改正、廃止されます。

発行所 公益社団法人 日本防犯設備協会

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-12-4（第 2 長谷川ビル）

TEL:03-3431-7301 FAX:03-3431-7304 E-mail:info@ssaj.or.jp